


牛久市(うしくし)

	市章等 〒 300-1292 〈住所〉 牛久市中央三丁目15番地1 〈TEL〉 029-873-2111 〈FAX〉 029-873-7510 〈HP〉 http://www.city.ushiku.ibaraki.jp 〈e-mail〉 webmas@city.ushiku.ibaraki.jp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市 町村会館管理 税滞納整理 利根川 水系流域の防水 消防救急 上水道 し尿処理 火葬場 畜場 下水道使用 料徴収 養護老人ホーム 老人福祉 センター 共同研修	公営企業 法非通用(公共下水 宅 造 市場)
	類型 II-1 地方公共 団体コード 082198 面積 58.88 km ²			

<行政組織>

①長等(平成24年5月1日現在)

長	いけのべ かつゆき 池邊 勝幸 (62歳)	任期	平成27年10月2日
		就任回数	3期目
副市長	野口 憲		

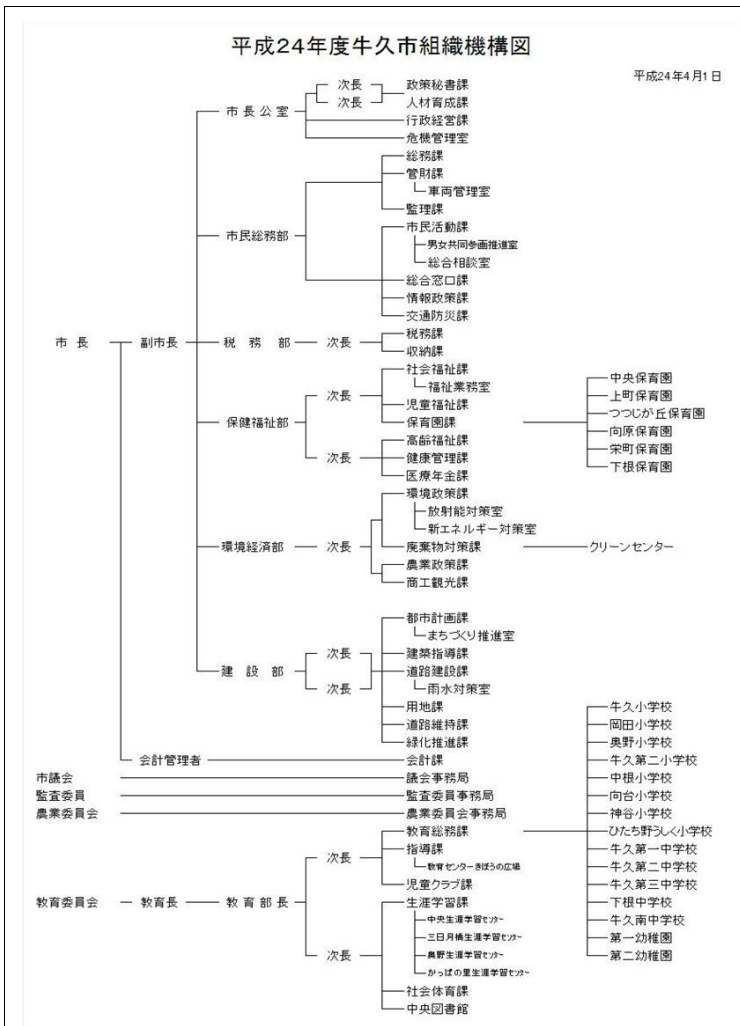
②議会(平成24年5月1日現在)

議長	柳井 哲也	副議長	山越 守
任期	平成27年4月29日	条例定数	22人
		現議員数	22人
党派別	公明3人, 共産3人, 民主1人, 新社会1人, みんな1人, 無所属13人		

③職員数(平成23年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
375	347	295	28
一般行政職の 平均給料月額	3,502 百円	ラスパイ レス指数 96.4	地域手当 補正後 ラス指数 96.4
全職員数の 推移	平成20年4月1日	平成21年4月1日	平成22年4月1日
	399	394	386

④機構図(平成24年4月1日現在)



<概要>

①沿革

昭和29年1月	牛久村が牛久町となる
昭和29年4月1日	牛久町と岡田村が合体
昭和30年2月10日	編入 奥野村
昭和32年7月1日	編入 阿見町大字福田の一部
昭和61年6月1日	市制施行

②地勢・風土等

牛久市は東京から50km、県南部に位置し、東西14.5km、南北10.7kmの広がりを持っており、鼓のような形態となっている。市の中央部を流れる小野川周辺及び南西側の牛久沼周辺は低地部となっており、その他の地域は関東ローム層の稲敷台地部によって形成されている。また、市内を国道6号線と常磐線が縦貫し、東西に首都圏中央連絡自動車道と国道408号線が通過しており、その地の利を生かした街づくりを進めている。特に、東部地区は、農地の保全・活用とともに2つの工業団地を有し、流通・工業ゾーンとしての位置付けがなされており、駅周辺の中心市街地とともに、市民と行政が一体となった魅力ある街づくりに取り組んでいる。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成24年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	36,390	38,339	40,803	41,088
	女	36,868	38,884	40,881	41,411
	合計	73,258	77,223	81,684	82,499
世帯数	24,763	27,917	31,569	32,253	

④有権者数(平成24年3月2日現在) ⑤高齢人口割合(H24.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	33,093	33,757	66,850	

<産業・経済>

①生産・所得(平成21年度)

市町村内総生産	1,691 億円	就業者1人当たり	6,032 千円
住民所得	2,244 億円	人口1人当たり	2,773 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成21年度)	就業人口(平成22年国調)	
第1次	1,450	0.9%	773 2.0%
第2次	32,641	19.3%	9,391 24.6%
第3次	138,166	81.7%	26,265 68.9%
総額・総数	169,053	—	38,111 —

③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	792	144	882
製造業 (平成22年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H22.1.1~12.31)
	60	3,232	120,414
卸・小売業 (平成21年7月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	639	5,656	104,114

④特産物

落花生, 大根, すいか, 白菜, さつま芋, 小菊

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成21年度決算	平成22年度決算	増減率
歳入	24,391,553	23,119,990	△ 5.2
歳出	23,451,827	21,890,323	△ 6.7
形式収支	939,726	1,229,667	-
実質収支	610,360	524,517	-
単年度収支	△ 55,646	△ 85,843	-
実質単年度収支	395,507	197,435	-

②主な歳入・歳出(平成22年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	23,120	-	△ 1,272	△ 5.2
地方税	11,558	50.0	△ 149	△ 1.3
地方交付税	1,402	6.1	566	67.6
国庫支出金	2,915	12.6	△ 1,154	△ 28.4
地方債	1,455	6.3	△ 1,152	△ 44.2
うち臨財債費	806	3.5	-	-
その他	5,791	25.0	-	-
うち繰入金	1,185	5.1	-	-
歳出	21,890	-	△ 1,562	△ 6.7
義務的経費	10,446	47.7	1,351	14.9
人件費	4,188	19.1	114	2.8
扶助費	3,803	17.4	1,129	42.2
公債費	2,455	11.2	108	4.6
投資的経費	2,148	9.8	-	-
普通建設事業費	2,143	9.8	△ 2,087	△ 49.3
うち補助	1,492	6.8	△ 1,428	△ 48.9
うち単独	650	3.0	△ 659	△ 50.3
その他の経費	9,297	42.5	-	-
うち繰出金	2,220	10.1	-	-

③主要指標(平成22年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	-	% (12.85)
連結実質赤字比率	-	% (17.85)
実質公債費比率	5.6	% (25.0) [11.1]
将来負担比率	-	% (350.0) [73.7]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成21年度～平成23年度)	0.904	[0.716]
経常収支比率	94.5	% [87.0]
標準財政規模(平成23年度)	14,322	百万円 [14,967]
地方債現在高(A)	21,766	百万円 [22,297]
債務負担行為支出予定額(B)	3,796	百万円 [2,838]
積立金現在高(C)	5,667	百万円 [5,150]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	19,895	百万円 [19,985]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成22年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	5,460,711 (42.5)	4,907,249 (42.5)	89.9
市町村民税・法人(構成比)	634,236 (4.9)	603,985 (5.2)	95.2
固定資産税(構成比)	5,261,157 (40.9)	4,714,149 (40.8)	89.6
市町村税合計(国除く)	12,863,440	11,557,950	89.9

<公共施設整備状況>(平成22年度) ※のみ平成23年度

小学校 ※	8 校	プール	2 か所
中学校 ※	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※	8 園	老人福祉施設	18 か所
保育所	11 か所	病院・一般診療所	55 か所
図書館	1 か所	道路改良率	56.6 %
公営住宅	313 戸	道路舗装率	67.6 %
公民館等	4 か所	上水道等普及率	87.4 %
体育館	1 か所	污水处理普及率	91.7 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
民間保育園の建設支援	H24	ひたち野うしく地区に建設が予定されている民間保育園(仮称)牛久みらい保育園の建設に対する補助等を実施。	140
医療福祉費支給制度(マル福)の拡大	H24 ~	平成24年度より小児外来の対象を中学校3年生まで拡大する。また、所得制限の撤廃や妊産婦の対象疾病の拡大等にも、引き続き取り組む。	536
放射能対策事業	H23 ~	保育園、小中学校、市内公園等の除染を実施するとともに、放射能測定器の貸し出しや、内部被曝回避のための食品検査、健康被害回避のための知識の普及を行う。	200
田宮西近隣公園の整備	H23 ~ H26	田宮西地区の雨水対策に必要な調整池としての田宮西近隣公園の整備。	316
ひたち野うしく小学校の増築	H23 ~ H24	ひたち野うしく地区の人口増による、ひたち野うしく小学校学区の児童急増に伴い、普通教室の増設が必要となるため校舎増築工事を実施する。	345

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会の進展等に伴う税収減に対応した財政運営 ・バイオマスタウン構想による地域循環型社会の構築 ・ワインビレッジ構想に基づく牛久駅周辺の活性化 ・雨水対策事業の推進 ・行財政改革の推進と中期財政計画に基づく事業展開 	
<p><特色ある行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然との調和と共存を目指したスローシティのまちづくり ・小学校区単位での地区社協設立 ・各種予防接種への助成 ・小学校空き教室を利用した保育園の運営 ・児童クラブの教育委員会による運営(7時～19時、土曜日開級) ・非常勤一般職員の月給制の導入 ・市が100%出資した農業法人(うしくグリーンファーム株)による農業基盤の確立 	